

同時発表
東北地方整備局
宮城県

平成23年4月28日
国土交通省河川局
国土地理院

仙台平野における地震に伴う地盤沈下について

東北地方太平洋沖地震に伴う地殻変動により、仙台平野の海岸及び平地部において広範な地盤沈下が発生しています。

また、津波により、海岸堤防は全域にわたり全半壊し、海岸沿いの砂丘も津波による侵食等により部分的に失われた状態となっています。

このため、仙台平野においては高潮等に対する安全性が著しく低下していることから、航空レーザ計測等^{※1}により得られたデータより、面的に地盤沈下の状況を把握し、海面との高さの関係を整理しました。地震前は、既往最高潮位以下の面積83km²のうち、平均海面以下の面積が3km²であったものが、地震後にはそれぞれ111km²、16km²と変化しました。

	地震前	地震後	増加した割合
平均海面 ^{※2} 以下の面積 ^{※3} (T.P. ±0m)	3 km ²	16 km ²	5.3 倍
大潮の満潮位 ^{※4} 以下の面積 (T.P. +0.7m)	32 km ²	56 km ²	1.8 倍
既往最高潮位 ^{※5} 以下の面積 (T.P. +1.6m)	83 km ²	111 km ²	1.3 倍

※1 一部現地測量の成果を使用して補正

※2 東京湾平均海面(T.P.±0m)

※3 面積は、小数点第一位を四捨五入

※4 朔望平均満潮位: 新月および満月の日から5日以内に現れる各月の最高満潮面の平均値。ここでは T.P.+0.7m

※5 T.P.+1.58m(観測所: 仙台新港験潮所 1980~2010の統計)を T.P.+1.6mとして算出

※ 同様の発表を、東北地方整備局、宮城県より宮城県政記者会、東北電力記者クラブ、東北専門記者会に対し実施しております。

<問い合わせ先>

- 国土交通省河川局河川計画課河川情報企画室 Tel03-5253-8446(直通)
課長補佐 中村 圭吾(内線 35375)
- 国土交通省河川局海岸室 Tel03-5253-8471(直通)
課長補佐 横林 直樹(内線 36335)(海岸関係)